

放課後等 デイサービス		事業所における自己評価結果（公表）				
公表：令和 7年 1月 20日		事業所名 特定非営利活動法人アイルコート				
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は 改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	7	7	2	
	②	職員の配置数は適切であるか	14	2	0	・急に休みが入ったときに人手不足を感じる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	9	6	1	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標 設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	10	0	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	10	6	0	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	5	8	2	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	9	6	0	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	16	0	0	
適切な支 援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	15	1	0	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	11	5	0	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	13	3	0	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している か	13	3	0	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	16	0	0	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画 を作成しているか	15	1	0	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか	16	0	0	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、そ の日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有しているか	11	5	0	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか	15	1	0	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断している か	12	3	0	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わ せて支援を行っているか	10	4	0	
関係機 関や保 護者 との連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい 者が参画しているか	13	2	0	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整 （送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切 に行っているか	14	1	0	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている か	12	3	0	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共 有と相互理解に努めているか	7	7	1	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所か ら障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、 それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか	12	3	0	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け ているか	13	2	0	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がい のない子どもと活動する機会があるか	2	8	5	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加して いるか	4	10	1	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っているか	15	0	0	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っ ているか	5	9	1	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか	13	2	0	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13	2	0	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開 催する等により、保護者同士の連携を支援して いるか	5	7	3	
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体 制を整備するとともに、子どもや保護者に周知 し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応し ているか	15	1	0	
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し て発信しているか	13	3	0	
	㉟	個人情報に十分注意しているか	16	0	0	
非 常 時 等 の 対 応	㊱	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	16	0	0	
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っているか	15	1	0	
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周 知しているか	15	1	0	
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っているか	15	1	0	
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保す る等、適切な対応をしているか	16	0	0	
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後 等デイサービス計画に記載しているか	16	0	0	
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされているか	16	0	0	
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し ているか	16	0	0	

公表：令和7年1月20日

事業所名 特定非営利活動法人 アイルコート

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	4	0	・見学したい(わからない)	見学したいという意見をいただきありがとうございます。見学については、いつでも受け付けております。ご希望がありましたら、職員へお伝えください。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	27	4	0	・見学したい(わからない)	活動スペースについては、就労継続支援B型と同じ建物で行っているということもあり、夏休み等は活動場所が制限されてしまう日もあります。こちらについては、法人内にて検討しております。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	25	6	0	・施設内をあまり把握していない。 覚えていない。 ・見学したい(わからない)	設備面でのバリアフリーについては、トイレ等は車椅子を使用している方にとっては、使用しづらい部分もあります。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	29	2	0	・見学したい(わからない)	
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	25	6	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	19	5	・交流されているかどうか知りません。 ・わからない ・わかりません。 ・すみません。私が知らないだけかもしれません。	コロナ禍以降、地域の子どもたちと活動する機会はあまり作れていません。今後、実施していきたいとも思っておりますので、イベント等実施の際はお知らせ致します。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	4	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	6	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	8	3		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	13	12	・保護者も忙しいと思うのでなかなか出来ないのでは、と思います。 ・個人的には必要ないとも思います。	父母の会や放課後等デイサービスの保護者が集まる機会等は実施できていません。 2023年度より、毎年2月頃に法人全体のご家族等向けに虐待防止研修を実施しております。ご家族同士お話できる機会もありますので、ぜひご参加ください。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	28	2	0		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	4	0	・とても詳しく伝えてくれているので、安心して通わすことができる。	ありがとうございます。必要に応じて、送迎や電話等にて情報共有等を行っております。ご要望等ありましたら、いつでも職員までお伝えください。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	27	4	0	・親は子供の活動をしらないので、会報で知れて嬉しいし、楽しみにしています。	毎月おたよりを発行しております。以下のアドレスにて自己評価の結果を掲載しております。 HPアドレス http://airu-court.com
非常時等の対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	29	2	0		
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	23	8	0		
満足度	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	13	0	・よく知らないが行われていると思う。 ・わからない	月に1回、火事や地震発生時の訓練を行っています。また、年に2回消防への通報訓練も実施してます。
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	26	4	0	・毎日楽しみにしている。言葉では伝えられないが表情で感じます。 ・デイには、にこにこしながらでかけています。	ありがたいご意見ありがとうございます。 毎日みなさんが笑顔で利用していただけるよう、職員一同がんばりますのでよろしくお願い致します。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	30	0	0	・先生方には送迎時など、お忙しい中、デイでの様子を丁寧に教えていただき、子どもが楽しんでいることがよく分かり、ありがたいです。 ・いつもていねいな支援ありがとうございます。 ・家とちがう役割でお兄さんしているという話を聞いて、通わせてよかったなあと思っています。 ・顔写真プリント配布や名札で安心感がある。チャイルドシートの件もこちらから言うか迷った所に使用の意向があってうれしかった！	何か気になる点やご要望等ありましたら、遠慮なく職員までお伝えください。今後より良い支援を提供できるように、ご意見を反映させていきたいと思っています。

〈その他〉

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス コンサフォス			
○保護者評価実施期間	2024年11月1日 ～ 2024年11月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	2024年11月1日 ～ 2024年11月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	16
○事業者向け自己評価表作成日	2024年1月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児の状況に合わせて、1.5:1以上の手厚い人員配置により、利用児一人ひとりのニーズに応じた支援ができる環境を作っている。	保育士等の有資格者や児童福祉経験者等の雇用を行い、より専門性の高い支援を提供できるようにしている。 また、法人内部の職員研修や外部へ研修派遣を通して、職員の知識の習得の機会としている。	経験が浅い職員もいるため、継続して研修の実施や参加の促しを行っていく。 質の高い外部の事業所見学や話を聞く場を持つ等、利用児の状況に応じた質の高い支援が提供できるように環境面も整えていく。
2	送迎時等に利用児のその日の様子等を細かく伝えることを大切にしている。	利用中の様子については、連絡帳へ記載するだけでなく、送迎時に細かく様子を伝えたり、日々の変化についても伝えて家庭と共有するようにしている。また、必要に応じて学校での様子や取り組み等もお聞きし、学校と事業所間で対応が大きく違わないようにするよう心がけている。	必要に応じて、送迎時以外でも育児での困りごとを相談するような機会を設ける。 家族の見学の機会等、事業所での利用児の様子を知ることができる機会を作る。
3	利用児がコンサフォスでの他児や職員との関わりや活動を楽しみに利用していただけている。笑顔で過ごす事ができている。	成長につながるような様々な経験ができたり、利用児が自己選択の機会を作れるよう、利用児にしてみたいことを聞きながら活動に取り入れるようにしている。 人との関わりを大切にできるよう、必要に応じて職員が介入し、利用児同士がコミュニケーションをとり、人との関わり方を学ぶことができるよう意識している。	利用児一人ひとりの状況をしっかりとアセスメントし、より成長につながる活動を行っていく。 事業所内だけでなく、地域の子どもたちと活動する機会を検討していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援室は基準以上の広さで設置しているが、活動内容や利用児の状況によっては、狭く感じたり、行動面で制限がかかる場面がある。	就労継続支援B型と同じ建物であるため、夏休み等の休日利用時は使えるスペースに限りがあるなど、行動面で制限ができています。パニックになった時等に安心してクールダウンをする場所がない。	放課後等デイサービスのみの建物の建築により、集団の空間、個別対応の個室等、利用児の特性に応じた個別支援を展開できるような環境を検討中である。
2	家族会の実施など、保護者同士の連携が取れるような機会を持っていない。	法人内で家族向けの虐待防止研修を実施しているが、どのような事を行っているか家族へ十分に伝えることができておらず、積極的な参加の促しが行えていない。 家族会等の必要性等、家族の意見やニーズを十分に聞くことができていないため、開催まで至っていない。	2023年度より実施している法人内の虐待防止研修にて、成人の事業所の家族とも交流できる機会が作れている。そういった機会にてどのような事が実施されているかを家族へ周知を行っていく。 家族に対して、家族同士の集まる場等が必要かニーズ調査を行う。
3	弱み1のところで重なるところもあるが、活動スペースが限られているということもあり、活動内容も広げることがあまりできていない。	利用児がしたい活動があった時に、活動スペースに限られてしまうため活動内容にも制限が出てきている。例えば、廊下で体を動かしたくてもできない等。	放課後等デイサービスのみの建物の建築により、より利用者のニーズに応じた活動をしやすくなる。 環境が変わった際は、利用児や家族からニーズを聞きながら、個別支援や集団支援等の幅広い活動内容を検討していく。